

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
設定日	2016年2月29日
信託期間	2016年2月29日～2019年8月26日（約3年半）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業が実質的に発行するハイブリッド証券を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。
主要運用対象	世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり） ・世界ハイブリッド証券マザーファンド201602の受益証券を主要投資対象とします。 世界ハイブリッド証券マザーファンド201602 ・主に世界の企業が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。
投資制限	世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり） ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界ハイブリッド証券マザーファンド201602 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年2月、8月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。 分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当収益のいずれかが多い金額とします。収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。

ホームページアドレス

<https://www.daiwasbi.co.jp/>

お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。



運用報告書（全体版）

第6期

決算日 2019年2月25日

世界ハイブリッド証券ファンド201602 （ヘッジあり） （愛称） ゆうせん君プラス201602

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）（愛称：ゆうせん君プラス201602）」は、去る2019年2月25日に第6期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

大和住銀投信投資顧問株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友D Sアセットマネジメント株式会社となる予定です。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

愛称：「ゆうせん君プラス201602」

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受利益者	ハイブリッド証券組入比率	元残存本率
	(分配)	税分配	込金	期騰落中額			
(設定日) 2016年2月29日	円 10,000	円 —	円 —	円 —	% —	% —	% 100.0
第1期(2016年8月25日)	10,519	80	599	6.0	12.2	89.3	93.6
第2期(2017年2月27日)	10,444	80	5	0.0	6.0	88.9	63.2
第3期(2017年8月25日)	10,817	80	453	4.3	7.1	88.6	48.7
第4期(2018年2月26日)	10,772	80	35	0.3	5.5	72.2	41.6
第5期(2018年8月27日)	10,328	60	△384	△3.6	2.8	81.1	29.0
第6期(2019年2月25日)	10,297	30	△1	△0.0	2.4	79.8	22.8

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は、設定価額を記載しています。

*基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、ハイブリッド証券組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		ハイブリッド証券組入比率
	騰	落率	
(期首) 2018年8月27日	円 10,328	% —	% 81.1
8月末	10,331	0.0	81.1
9月末	10,315	△0.1	86.1
10月末	10,305	△0.2	85.9
11月末	10,244	△0.8	85.8
12月末	10,172	△1.5	75.8
2019年1月末	10,240	△0.9	76.5
(期末) 2019年2月25日	10,327	△0.0	79.8

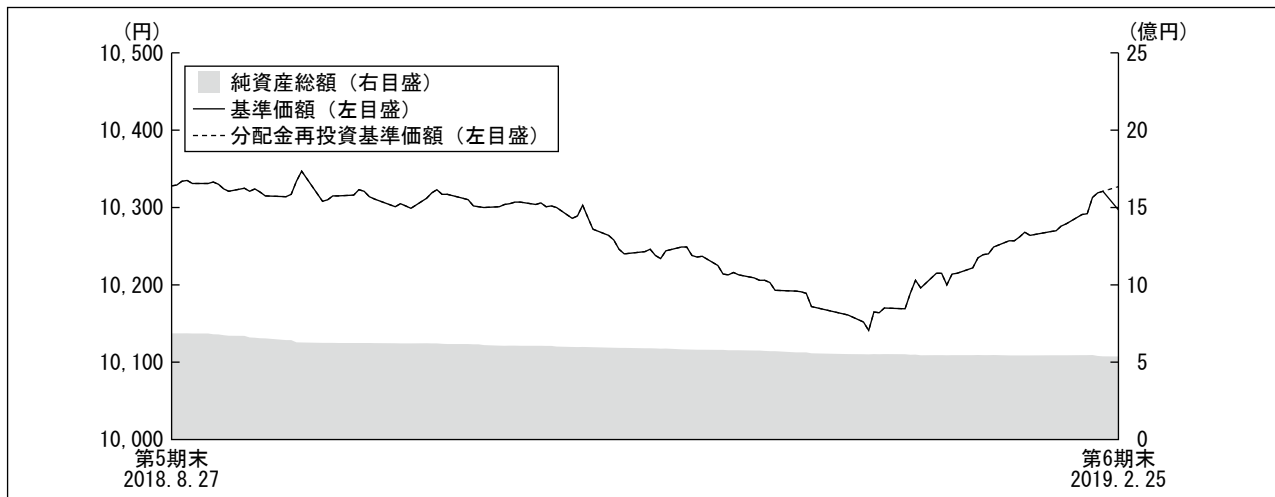
*騰落率は期首比です。

*期末基準価額は分配金込み

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、ハイブリッド証券組入比率は実質組入比率を記載しています。

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

第6期首：10,328円

第6期末：10,297円（既払分配金 30円）

騰落率：△0.0%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、世界ハイブリッド証券マザーファンド201602への投資を通じて、主に世界の企業（金融機関のほか、事業会社も含まれます。）が実質的に発行するハイブリッド証券を中心に投資を行いました。

（上昇要因）

FRB（米連邦準備制度理事会）の政策がハト派的となったことを背景に、中長期的な金利上昇への期待が後退し、デュレーション*の長い従来型優先証券が上昇したことが要因となりました。また、クーポンが高く、コール（期限前償還）までの期間の短い一部の優先証券は、リスクオフの環境下で価格は下落したものの、高いクーポン収入がプラスに寄与したことが要因となりました。

（下落要因）

信託報酬や為替ヘッジなどのコストが要因となりました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

愛称：「ゆうせん君プラス201602」

【投資環境】

当期の優先証券市場は、1,000ドル額面の銘柄が中心の店頭市場、25ドル額面の銘柄が中心の上場市場ともに上昇しました。2018年8月末にかけては、欧米企業の好調な決算やユーロ圏経済の回復が示唆されたことにより、リスク資産市場は好調となり、両市場ともに上昇しましたが、9月に入ると、これまで上昇していた上場市場の相場は天井をつけ、下落しました。10月から12月末にかけては、金利上昇に加え、米国株の下落や貿易戦争への懸念の高まり、欧州の地政学リスクの高まりなどを背景に、クレジット市場全般のリスク回避的な動きが優先証券市場にも波及し、両市場ともに下落しました。2019年1月以降は、ファンダメンタルズ（基礎的条件）が健全で企業業績が好調だったほか、FRBによるハト派的な姿勢を背景に、株式市場も反転上昇し、リスクオンのセンチメントがクレジット市場にも波及して優先証券市場も上昇しました。

【ポートフォリオ】

■世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

主要投資対象である世界ハイブリッド証券マザーファンド201602を期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的なハイブリッド証券組入比率は79.8%としました。

また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

■世界ハイブリッド証券マザーファンド201602

当期の騰落率は、+2.0%となりました。

主な売買としては、解約対応のための売却が中心で、購入銘柄はありませんでした。なお、コールもしくはテNDER（買入消却）された主な銘柄は、Prudential PLCの優先証券でした。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り30円（税込み）とさせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

今後の運用方針

■世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業（金融機関のほか、事業会社も含まれます。）が実質的に発行するハイブリッド証券を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

■世界ハイブリッド証券マザーファンド201602

優先証券市場では、一時的にボラティリティ（価格変動性）が高まる局面もあると思われませんが、長期的には底堅く推移すると考えています。組入比率が一部の発行体に偏らないよう注視しながら、負債などを管理する取引の一環として、近い将来にコールやテNDERが行われる可能性の高い、高クーポンの銘柄に注目し、保有を継続または必要に応じて新規に購入を行います。一方、投資妙味の薄い銘柄やコールのスキップなどのリスクが高く、デュレーションが長期化する可能性のある銘柄については、十分に注視し、必要に応じて売却も視野に入れる方針です。

なお、保有しているキャッシュ等は、今後、デュレーションが短く、質の高い銀行銘柄に投資する予定です。

世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

愛称：「ゆうせん君プラス201602」

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年8月28日～2019年2月25日		
	金額	比率	
信託報酬	85円	0.824%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,268円です。
（投信会社）	(44)	(0.431)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(39)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	4	0.040	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.034)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	89	0.864	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2018年8月28日から2019年2月25日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界ハイブリッド証券マザーファンド201602	千口 20,212	千円 22,966	千口 169,872	千円 195,231

世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

愛称：「ゆうせん君プラス201602」

利害関係人との取引状況等

（2018年8月28日から2019年2月25日まで）

<世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

<世界ハイブリッド証券マザーファンド201602>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2019年2月25日現在

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
世界ハイブリッド証券マザーファンド201602	千口 618,180	千口 468,519	千円 545,075

*世界ハイブリッド証券マザーファンド201602全体の受益権口数は、468,519千口です。

投資信託財産の構成

2019年2月25日現在

項目	当期	期末
	評価額	比率
世界ハイブリッド証券マザーファンド201602	千円 545,075	% 96.5
コール・ローン等、その他	19,620	3.5
投資信託財産総額	564,696	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1アメリカ・ドル=110.78円

*世界ハイブリッド証券マザーファンド201602

当期末における外貨建資産（539,769千円）の投資信託財産総額（564,730千円）に対する比率 95.6%

世界ハイブリッド証券ファンド201602（ヘッジあり）

愛称：「ゆうせん君プラス201602」

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年2月25日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,152,491,368円
世界ハイブリッド証券 マザーファンド201602(評価額)	545,075,538
未 収 入 金	607,415,830
(B) 負 債	615,812,087
未 払 金	600,584,985
未 払 収 益 分 配 金	1,563,560
未 払 解 約 金	9,139,230
未 払 信 託 報 酬	4,492,471
そ の 他 未 払 費 用	31,841
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	536,679,281
元 本	521,186,749
次 期 繰 越 損 益 金	15,492,532
(D) 受 益 権 総 口 数	521,186,749口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	10,297円

*投資信託財産に係る設定年月日、期首元本額及び元本残存率

設定年月日	2016年2月29日
設定元本額	2,284,119,075円
期首元本額	664,472,176円
元本残存率	22.8%

分配金のお知らせ

1万口当り分配金(税込み) **30円**

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

損益の状況

自2018年8月28日
至2019年2月25日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	14,757,488円
売 買 益	49,152,198
売 買 損	△34,394,710
(B) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	△10,594,703
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,917,936
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 755,151
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	21,808,265
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,997,022
(G) 計 (D + E + F)	17,056,092
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,563,560
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	15,492,532

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*当期中において、親投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は1,129,182円です。

世界ハイブリッド証券マザーファンド201602

運用報告書

決算日：2019年2月25日

(第6期：2018年8月28日～2019年2月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主に世界の企業が発行するハイブリッド証券を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	主に世界の企業が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資割合には、制限を設けません。・ 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

資産運用のベストパートナー、だいwasみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<https://www.daiwasbi.co.jp/>

世界ハイブリッド証券マザーファンド201602

最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		ハイブリッド証券 組入比率	純資産額
		騰	落率		
第2期 (2017年2月27日)	円		%	%	百万円
	10,811		13.5	88.8	1,509
第3期 (2017年8月25日)	11,215		3.7	88.9	1,198
第4期 (2018年2月26日)	11,157	△	0.5	73.5	1,007
第5期 (2018年8月27日)	11,406		2.2	79.0	705
第6期 (2019年2月25日)	11,634		2.0	78.6	545

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準	価額		ハイブリッド証券 組入比率
		騰	落率	
(期首) 2018年8月27日	円		%	%
	11,406		—	79.0
8月末	11,398		△0.1	80.6
9月末	11,664		2.3	84.5
10月末	11,673		2.3	85.0
11月末	11,660		2.2	84.9
12月末	11,383		△0.2	76.2
2019年1月末	11,316		△0.8	75.6
(期末) 2019年2月25日	11,634		2.0	78.6

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：11,406円

期末：11,634円

騰落率：+2.0%

【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

FRB（米連邦準備制度理事会）の政策がハト派的となったことを背景に、中長期的な金利上昇への期待が後退し、デュレーション*の長い従来型優先証券が上昇したことが要因となりました。また、クーポンが高く、コール（期限前償還）までの期間の短い一部の優先証券は、リスクオフの環境下で価格は下落したものの、高いクーポン収入がプラスに寄与したことが要因となりました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【投資環境】

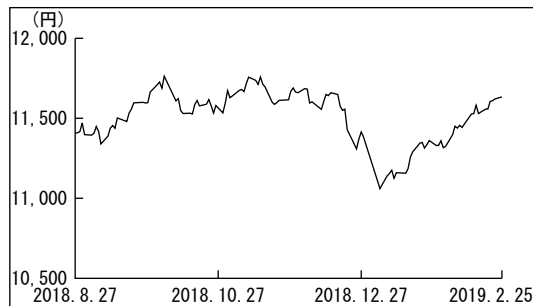
当期の優先証券市場は、1,000ドル額面の銘柄が中心の店頭市場、25ドル額面の銘柄が中心の上場市場ともに上昇しました。2018年8月末にかけては、欧米企業の好調な決算やユーロ圏経済の回復が示唆されたことにより、リスク資産市場は好調となり、両市場ともに上昇しましたが、9月に入ると、これまで上昇していた上場市場の相場は天井をつけ、下落しました。10月から12月末にかけては、金利上昇に加え、米国株の下落や貿易戦争への懸念の高まり、欧州の地政学リスクの高まりなどを背景に、クレジット市場全般のリスク回避的な動きが優先証券市場にも波及し、両市場ともに下落しました。2019年1月以降は、ファンダメンタルズ（基礎的条件）が健全で企業業績が好調だったほか、FRBによるハト派的な姿勢を背景に、株式市場も反転上昇し、リスクオンセンチメントがクレジット市場にも波及して優先証券市場も上昇しました。

【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+2.0%となりました。

主な売買としては、解約対応のための売却が中心で、購入銘柄はありませんでした。なお、コールもしくはテNDER（買入消却）された主な銘柄は、Prudential PLCの優先証券でした。

基準価額の推移



今後の運用方針

優先証券市場では、一時的にボラティリティ（価格変動性）が高まる局面もあると思われませんが、長期的には底堅く推移すると考えています。組入比率が一部の発行体に偏らないよう注視しながら、負債などを管理する取引の一環として、近い将来にコールやテNDERが行われる可能性の高い、高クーポンの銘柄に注目し、保有を継続または必要に応じて新規に購入を行います。一方、投資妙味の薄い銘柄やコールのスキップなどのリスクが高く、デュレーションが長期化する可能性のある銘柄については、十分に注視し、必要に応じて売却も視野に入れる方針です。

なお、保有しているキャッシュ等は、今後、デュレーションが短く、質の高い銀行銘柄に投資する予定です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年8月28日～2019年2月25日		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.034% (0.034)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	4	0.034	
期中の平均基準価額は11,516円です。			

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2018年8月28日から2019年2月25日まで)

■ハイブリッド証券

		買	付	額	売	付	額
外国	ア			千アメリカ・ドル			千アメリカ・ドル
	メ			—			577
	リ						(500)
	カ						

* 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

* () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

世界ハイブリッド証券マザーファンド201602

主要な売買銘柄

(2018年8月28日から2019年2月25日まで)

■ハイブリッド証券

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
	金 額		金 額
—	—	LLOYDS BANKING GROUP PLC FL PERPETUAL	17,205
	千円	BARCLAYS BANK PLC 10.179 06/12/21	12,826
		BPCE SA FL PERPETUAL	12,027
		STANDARD CHARTERED PLC FL PERPETUAL	11,782
		CREDIT AGRICOLE SA FL PERPETUAL	11,391

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2018年8月28日から2019年2月25日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2019年2月25日現在

■ハイブリッド証券1,000ドル額面、その他

銘	柄	期首 (前期末)	当 期 末		
		額 面 金 額	額 面 金 額	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ・ドル…アメリカ)		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円
PRUDENTIAL PLC 7.75 12/23/18		500	—	—	—
RBS CAPITAL TRUST II FL PERPETUAL		400	400	485	53,728
CREDIT AGRICOLE SA FL PERPETUAL		500	400	412	45,641
BPCE SA FL PERPETUAL		500	400	421	46,638
BNP PARIBAS FL PERPETUAL		400	400	426	47,283
COOPERATIEVE RABOBANK UA FL PERPETUAL		400	400	412	45,696
BARCLAYS BANK PLC 10.179 06/12/21		500	400	452	50,110
LLOYDS BANKING GROUP PLC FL PERPETUAL		550	400	399	44,256
STANDARD CHARTERED PLC FL PERPETUAL		500	400	422	46,757
HSBC CAPITAL FUNDING LP FL PERPETUAL		300	300	436	48,304
合 計	額 面 金 額	4,550	3,500	3,867	428,417
	銘 柄 数 <比 率>	10銘柄	9銘柄	—	<78.6%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率

投資信託財産の構成

2019年2月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ハイブリッド証券	428,417	75.9
コール・ローン等、その他	136,312	24.1
投資信託財産総額	564,730	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1アメリカ・ドル=110.78円

*当期末における外貨建資産(539,769千円)の投資信託財産総額(564,730千円)に対する比率 95.6%

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年2月25日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	578,730,346円
コール・ローン等	128,524,856
ハイブリッド証券(評価額)	428,417,832
未 収 入 金	14,000,000
未 収 利 息	7,787,658
(B) 負 債	33,633,777
未 払 金	14,012,897
未 払 解 約 金	19,620,880
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	545,096,569
元 本	468,519,459
次 期 繰 越 損 益 金	76,577,110
(D) 受 益 権 総 口 数	468,519,459口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	11,634円

*元本状況

期首元本額	618,180,255円
期中追加設定元本額	20,212,186円
期中一部解約元本額	169,872,982円

*元本の内訳

世界ハイブリッド証券ファンド201602(ヘッジあり)	468,519,459円
-----------------------------	--------------

損益の状況

自2018年8月28日
至2019年2月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	19,845,034円
受 取 利 息	19,850,003
支 払 利 息	△ 4,969
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 7,397,001
売 買 益	4,574,712
売 買 損	△11,971,713
(C) そ の 他 費 用	△ 205,072
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	12,242,961
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	86,938,618
(F) 解 約 差 損 益 金	△25,358,863
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,754,394
(H) 計 (D+E+F+G)	76,577,110
次 期 繰 越 損 益 金(H)	76,577,110

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments